

# 公募説明会Q&A集

## Q1

### **調査概要について**

本事業の調査結果をどのような事に活用されることを想定しているのでしょうか？

## A

NEDOプロジェクトの立ち上げの為に利用させていただきます。  
2024年度以降で実施を検討している基盤モデル関連プロジェクトを立ち上げる際の参考情報として活用させていただきます。

また、AIアクションプラン関連調査内容については、第4世代AIの研究開発プロジェクトを今後検討したい為、その際の参考情報として活用させていただきます。

Q2

## **調査スケジュールについて**

実際に調査を開始できるタイミングはいつになるのでしょうか？

A

採択通知のタイミングとなるため、6月下旬を想定しております。

## Q3

**(1)-2 基盤モデル技術の動向・及び影響調査**

有識者のヒアリングを行うに当たって、動向調査を行う必要があると思いますが、それまでに(1)-2にて調査した内容からのアップデートについても有識者ヒアリングと並行して行う必要はあるのでしょうか？

## A

調査内容のアップデートについてはNEDOから指定を行う事はございませんので、ご提案の内容についてはお任せ致します。

NEDO側としては、早期に有識者との意見交換に着手いただきたいと考えており、これを行う上で必要な情報を収集する調査として動向・影響調査を実施していただくこと、また、非常に動きの早いテーマであるため、当初の調査だけで完結させず、以降も定期的に内容をアップデートいただくことをイメージしておりました。

Q4

**(2) AI技術の動向調査を踏まえた国産の公的基盤モデルの要件定義について**

「検討にあたっては、テックコミュニティの場を活用し」という記載が仕様書にございますが、テックコミュニティについて、NEDOの想定しているコミュニティはあるのでしょうか？

A

テックコミュニティについては仕様書で指定しておりませんので、ご自由に提案ください。

NEDOとしては、テックコミュニティの具体例としてAI JAPAN (<https://www.ai-japan.go.jp/menu/ai-japan-rd-network/ai-japan-rd-network/>)をイメージしていました。

## Q5

### **(2) AI技術の動向調査を踏まえた国産の公的基盤モデルの要件定義について**

有識者委員会の会議体や回数は提案次第になるのでしょうか？

A

会議体については、言語系、非言語系の両方を見ながら基盤モデルの構築を行う為、NEDOにおいても関係するアカデミアの有識者についてアイデアを持っております。ご提案いただいたアイデアと、NEDOのアイデアを持ち寄っての議論を行う想定です。

会議の回数については提案次第ですが、非常に難易度の高い議論になることが想定されるため、その点を考慮してご提案ください。

Q6

## (2) AI技術の動向調査を踏まえた国産の公的基盤モデルの要件定義について

検討を行う基盤モデルについては、いくつかの取り組むべき基盤モデル案を決定した上で深掘りを行うという認識で良いでしょうか？

A

ご認識の通りで問題ございません。  
提案の中で取り組むべき基盤モデル案をいただけますと助かりますが、深掘りを行っていく基盤モデル案については、コミュニティ有識者の方と議論しながら、絞り込んでいくプロセスを想定しております。

なお、言語単独のモデルについては対象外といたします。